

# 令和3年度 教員免許状更新講習 シラバス

講習 番号	8	講習名	【選択⑧】特別支援教育ーアセスメントと発達支援				
担当講師	開催地	時間数	主な受講対象者		受講人数	講習形式	試験方法
島谷 康司 堀江 真由美 細川 淳嗣 林 優子	三原キャンパス	6時間	幼小 教諭 養護教諭		50人	対面講義	筆記
開催日	8月18日(水)		予備日	8月24日(火)			
<p><b>【到達目標】</b>          子どもの困り感の背景を理解し、適切な支援を行うためには、子どもの特性や行動の意味を正確にアセスメントすることが大切である。アセスメントに基づく発達支援や環境整備について理解する。</p>							
<p><b>【講習の概要】</b>          自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、構音障害、学習症、発達性協調運動症等に対する適切な支援が教育現場に求められている。この講座では、医師、理学療法士、言語聴覚士の資格を有する教員が、発達に支援が必要な子どもの行動や情緒、コミュニケーション、学習上の問題を最新の医学的知見から解説し、正確なアセスメントによる子どもの理解とその具体的な支援について教授する。</p>							
<p><b>【講習の内容】</b></p> <p><b>講義1：姿勢・運動への支援（担当：理学療法学コース 理学療法士 島谷 康司）</b>          発達の基礎を理解したのちに、姿勢保持・変換、手足や頭部・眼球の協調運動が困難な子どもの事例を挙げながら、リハビリテーションの基本的な考え方と、具体的なリラクゼーションの方法・姿勢や手足や頭部・眼球のコントロール、歩行（移動）支援の方法などについて、その考え方を解説する。</p> <p><b>講義2：コミュニケーションへの支援（担当：コミュニケーション障害学コース 言語聴覚士 堀江 真由美）</b>          コミュニケーションに困難さをもつ子どもには、ことばの理解、表現の遅れや未熟や歪み、上手く人と関われない等さまざまなタイプの子どものいる。発達を理解した上で、子どもや特徴を考慮した支援や指導の手がかりを解説する。</p> <p><b>講義3：学習への支援（担当：コミュニケーション障害学コース 言語聴覚士 細川 淳嗣）</b>          文字の読み書きの困難さなどの学習の困難さを持った児童に対する支援のヒントを提供する。また、このような児童の中には、学校生活や学習でのことばの理解やことばでの表現のスキルに困難を持つ児が多く、これが学習を妨げていることもある。そのため、これらのスキル向上を目的とした理解・表現力向上のための支援について解説する。</p> <p><b>講義4：気持ちのコントロールへの支援（担当：作業療法学コース 小児神経科医 林 優子）</b>          集団生活の中で、気持ちが切り替えにくく次の課題に取り組めない、不安が強く活動に参加できない、怒りが強く落ち着くのに時間がかかるなどの難しさを持った子どもたちがいる。まず、その時の環境要因や子どもの気持ちを総合的に判断・理解する。その上で長期の目標を見据え、適切な対応を考えていく。薬物療法の意味についても解説する。</p>							
<p><b>【備考】</b>          試験の際には講義資料及びノートの持ち込みを認めます。          希望者には、昼休憩時に附属診療センター見学を実施します。</p>							